

Kaisei

くわいせい

回生ニュース

Vol.66

平成26年4月発行(季刊誌)

〒600-8814

京都市下京区中堂寺庄ノ内町8-1

医療法人回生会 編集委員会

TEL 075-315-3477

FAX 075-311-6082

春

- メタボより怖い口コモってなあに!?
- ケアセンター回生ってどんなところ
- 食事も治療の一貫
- 平成25年下半期研修報告
- 薬のまめ知識

退院できるの!?

あなたの退院をサポートします

知ってますか?

在宅療養あんしん病院

登録システムに登録しよう!

退院できるの!?

あなたの退院をサポートします

退院は嬉しいことばかりではなく、不安もいっぱい

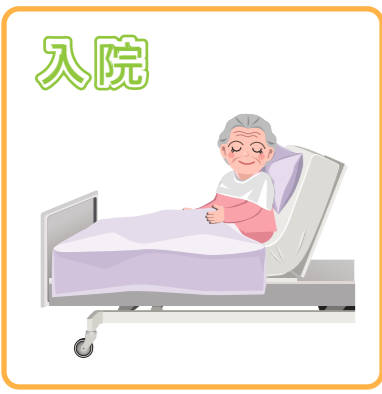
京都回生病院では、退院調整委員会を設置し、入院早期より退院される際の問題点を把握することで、治療に目標を設定し、病気・けが・障害などと向き合って、安心した在宅療養・施設療養を送れるように支援しています。

退院調整委員会では、退院調整看護師が中心となり病棟看護師・MSW(医療ソーシャルワーカー・相談員)と共に退院に向けた制度・福祉サービスの調整を行いスムーズな退院を目指します。

【MSW】
心理的・社会的問題について、社会福祉の専門的知識及び技術に基づき課題に関して側面的支援を行います。退院時には、患者さま・ご家族の方の思いや状況に合った社会制度などの情報提供を行い、療養の場の選択や調整に必要な援助を行います。

【退院調整看護師】
医療依存度が高い患者さま・ご家族への退院を支援するために、在宅療養に視点をおいた具体的なケア指導、訪問看護師との連絡・調整を行います。そして、退院前に地域の医師や訪問看護師、ケアマネジャー等との退院前合同カンファレンスの計画・調整を行います。

退院時に支援が必要な場合



退院調整看護師やMSWが、患者さま・ご家族の話を聞きながら、今後の支援の方向性を決定していきます。

退院後在宅医療を希望される場合

退院に向けて、かかりつけ医や訪問看護師、ケアマネージャー等の調整を行います。連携先と退院前にカンファレンスを実施し、今後の支援の方向性について検討していきます。

退院後転院を希望される場合

病状によって療養型病院や施設への転院をお手伝いをします。

入院中の患者さま・ご家族さまに聞いた
退院の時の不安や問題

- 入浴** 手伝ってもらつとひとがいない
- 移動** 身体を支えるのが大変
身体の変え方とタイミング
- 着替え** 着替えさせる方法がわからない
どのような衣服が良いのか
- 緊急時** 転倒したときの対応
病状が悪化したときの対応
- 排泄** バリアフリーではない(使いにくい)
- 食事** 毎日の献立内容
食事の介助方法

不安や問題を早くから把握することで早期での在宅療養や施設療養を目指すことができる

- 1 入院早期から制度や福祉サービスの活用について相談をすることで、患者さまやご家族の社会的不安を把握し療養生活の安心を得る。
- 2 入院時より退院後の生活を視野に入れたサポートを考慮することで、医療・看護の継続をスムーズに進める。
- 3 各担当者(医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・ソーシャルワーカー等)の専門的な視点からの意見を調整に反映することで、患者さまが目標をもって退院に望むことができる。
- 4 地域医療機関・各職種との連携を図ることで、患者さまの療養生活の維持・向上を期待する。

こんなことで困って
いらつしやいませんか?

- ◎ 医療費のことが不安
- ◎ 生活費のことで困っている
- ◎ 退院後の生活が心配
- ◎ 介護保険などの制度や、使えるサービスについて知りたい
- ◎ 不安や心配事があるけれど、誰に何を相談していいかわからない

など

どんなに小さなことでも、親切丁寧に対応いたします。
どうぞお気軽にご相談ください。



京都回生病院 医療介護相談室 医療ソーシャルワーカー
長谷田 紘志 竹内 知佳 松岡 峻一郎

在宅療養あんしん病院登録システムに登録しよう!!

知っていますか?

京都市在住の65歳以上の在宅療養をされている方が安心して生活を送れるための制度です。

在宅療養あんしん病院登録システムってなに?

京都独自のシステム

在宅療養中の高齢者が体調を崩し、在宅での対応が困難になった時にかかりつけ医の診療を受け、必要に応じてスムーズに入院加療ができる京都独自のシステムです。
軽度の病状が対象となり、早期の加療により身体の働きの低下をできるだけ防ぐことを目的とします。登録することにより、短期間の入院にて在宅での生活を続けることを支援するシステムです。

対象者

- 65歳以上の高齢者の方
- 在宅で療養中の方
- かかりつけ医に定期的に通院されている方
- 訪問診療を受けている方
- 施設入所中の方

こんな時に安心して療養できます

風邪や肺炎

風邪なのか肺炎なのか分からないが体調が悪い場合

脱水症状

食事が取れていない、一時的に体調が悪い場合

入院での治療が必要である重篤な状態になる前に早期治療をはじめ3日〜1週間程度での退院をめざすシステムです。骨折、急性心筋梗塞、脳卒中などの緊急性の高い病気やケガは対象とはなりません。
風邪や脱水症状以外で軽度の症状でもかかりつけ医に相談してください。かかりつけ医と在宅療養あんしん病院の担当医が情報を交換し、必要に応じて入院加療を開始致します。



かかりつけ医とは?

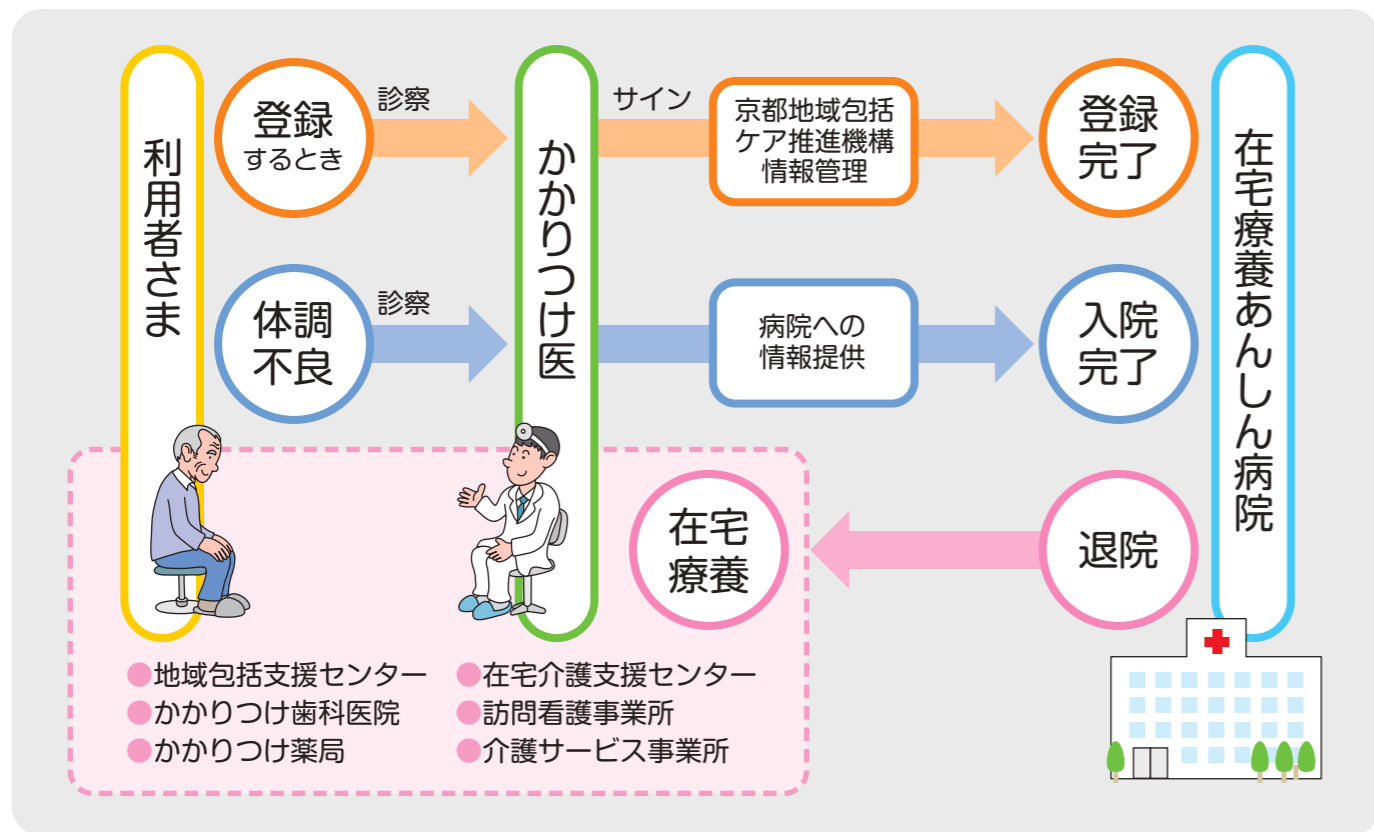
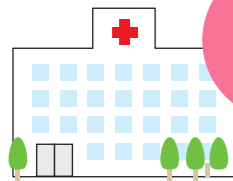
現在ご本人さまが、かかっておられる診療所・病院の主治医、訪問診療の主治医、入所中施設内の主治医等、医療・介護・福祉との連携に取り組む医師をかかりつけ医とされています。

京都回生病院やクリニック回生にかかっておられる場合は主治医がかかりつけ医となります。

在宅療養あんしん病院とは?

ご本人さまが在宅や施設療養を続けるのが一時的に困難になったとき、かかりつけ医に相談の上、入院できる病院です。

登録可能

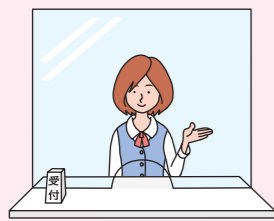


在宅療養あんしん病院の案内・登録用紙は訪問診療またはかかりつけ医療機関（病院・診療所）にて入手できます。

もちろん京都回生病院・クリニック回生にもございますので受付にてお声掛けください。その他（訪問看護・訪問リハビリ等）ご利用の方は担当スタッフまでお問い合わせ下さい。



受付にて記載方法・ご説明等いたしておりますので、お気軽にお声かけ下さい。





院長
福井 好彦

Fukui Yoshihiko
(関西医科大学 昭和46年卒業)

専門領域
消化器外科・整形外科

所属学会
日本外科学会専門医
日本消化器外科学会認定医

ロコモティブシンドロームの 予防・対策 6カ条

- その1 姿勢を見直しましょう**
猫背になっていたり、お腹を突き出したような姿勢にならないよう意識するだけでも、からだは長持ちします。
- その2 小まめにからだを動かしましょう**
筋肉や骨は、「からだは動かすもの」という指令が伝わると、いくつになっても強くなる。老化予防になります。
- その3 小さな痛みも見逃さないようにしましょう**
痛みは最も分かりやすいからだからのサイン。運動の途中にも次のようなチェックを！
□ 運動中に痛みはないか
□ 直後に痛みが出ていないか
□ 翌日に痛みは出ていないか

- その4 食事はからだ作りの基本！**
骨を丈夫にするためには、若い頃からの食事も大切。積極的に摂りたい栄養素は次の通りです。
骨や歯の主成分
・カルシウム…牛乳など
カルシウムの吸収を高める
・ビタミンD…魚全般、きくらげなど
骨の質を高める
・ビタミンK…小松菜、納豆、ニラなど
- その5 ストレッチはゆっく〜り〜**
スポーツの前後には、必ずゆっく〜りとストレッチを行うこと。
- その6 スポーツ量は加減も大切！**
急激に飛んだり跳ねたりするスポーツを激しく行ったりすると関節や軟骨を痛める原因に。自分に合った運動量を知り、激しくからだを使い過ぎないこと！

当院では、日常診療の中でロコモ(骨粗鬆症・変形性関節症・脊柱管狭窄症など)の検査・治療を積極的に行っております。
ロコモチェックに該当する方や日常生活にお困りの方は早期治療・早期発見・予防が重要です。是非一度当院外科を受診の上、ご相談ください。

メタボより怖い ロコモってなあに!?



もはや国民病!?ロコモのおそれがある人は全国に約4700万人。70歳以上では95%の方があてはまります。

ロコモとは?

最近、テレビや雑誌などでも少しずつ耳にするようになってきた「ロコモ」という言葉。多くの国民に関係する危険な症状ということで厚生労働省が認知度向上に取り組んでいます。
ロコモとはロコモティブシンドロームの略で骨や関節、筋肉などの運動器の障害により、介護が必要になったり寝たきりになるリスクの高い状態のことです。運動器はそれぞれが連携して働いているため、どれかひとつが悪くても身体はうまく動きません。また、複数の運動器が同時に障害を受けることもあります。高齢者だけでなく、早い人では40歳くらいから始まる人もいます。また、引きこもりにつながり、メタボリックシンドロームや認知症を合併するおそれもあり、ロコモの予防と改善のためには、早期の対処が必要とされています。



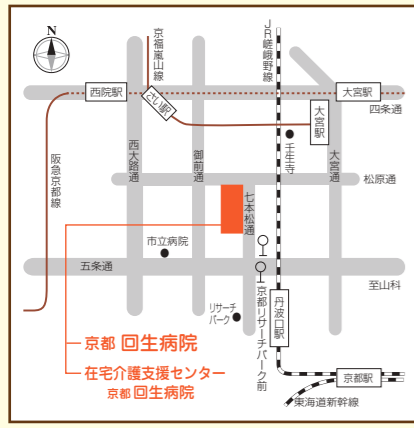
ロコモの原因となる主な病気

- 骨粗鬆症**
骨が弱くなり、骨折しやすくなります。ちよつと転んだだけで骨折をしたり、気づかないうちに背骨がつぶれていることも。背中がまるくなったり、身長が縮んできたりしたら、骨粗鬆症が心配です。
- 変形性関節症**
関節軟骨のすり減りにより、痛みや可動域制限(曲げ伸ばしが十分できない)などを生じます。膝関節や股関節に多く、関節を動かすことと、関節周囲の筋肉を丈夫にしておくことが大切です。
- 脊柱管狭窄症**
背骨にかかる負担の結果、椎間板がすり減ったり、骨の変形を生じたりします。神経が圧迫されると「脊柱管狭窄症」という病気を引き起こし、脚の痛みやしびれを生じます。

まずは、ロコモチェックしてみよう

- ①片足立ちで靴下がはけない
- ②家の中でつまづいたり滑ったりする
- ③階段を上るとき手すりが必要
- ④横断歩道を青信号で渡りきれない
- ⑤15分くらい続けて歩けない
- ⑥2kg程度の重い物の持ち帰りが困難
- ⑦家の中の重い仕事(布団の上げ下げなど)が困難

1つでも当てはまればロコモの心配があると考えられています。



バスでお越しの方
JR京都駅より
【市バス】
73系統「洛西バスターミナル」行
75系統五条通経由「黒橋双ヶ岡」行
「京都リサーチパーク前」下車徒歩約5分
【京都交通バス】
81系統「大覚寺」行
84系統「御室」行
「京都リサーチパーク前」下車徒歩約5分
阪急河原町駅より
【市バス】
西院方面行
「四条中新道」下車 徒歩約10分
徒歩でお越しの方
●西大路松原より約 7分
●JR丹波口駅より約 7分

ケアセンター一回生入所者様

1日の流れ

入所されている利用者様の一日をご紹介します。

7:00頃 起床
日常着へ着替え、洗面をして頂きます

8:00頃～ 朝食
お食事は談話室にお集まり頂きます

9:00頃～ 朝のご挨拶・体操
朝の体操を行ないます

12:00頃～ 昼食
四季折々のお食事をお楽しみ下さい

季節のお弁当

14:00頃～ 行事・レクリエーション
内容はその日によって変わります

15:00頃～ おやつ・体操

18:00頃～ 夕食
夕食後は洗面、着替えをして頂きます

21:00頃 消灯・就寝
夜間は職員が定期的に巡回しています
ごゆっくりお休み下さい



入浴(週に2回)

個別リハビリ・集団リハビリ

ケアセンター 回生って どんなところ?



介護老人保健施設ケアセンター
回生ってどんなところかご存知で
しょうか?

介護老人保健施設とは?

介護老人保健施設は略して老健
(ろうけん)と呼ばれることが多い

ですが、病院や老人ホームではありません。病状が安定期にあっても、継続的な介護が必要な方に介護・看護・リハビリなどを総合的に提供させて頂き、利用者さまの自立を支援し、家庭への復帰を第一の目的としています。

病院とは何が違う?

介護老人保健施設は病院と自宅との中間施設であり、入院生活が必ずしも必要ではない状態でありながら、まだ家での生活が難しい方や、不安のある方、家庭生活に支援が必要な方に、施設生活を通してリハビリを行い、家庭での自立した生活を目指します。またリハビリだけではなく、季節に合わせた行事や施設内外のレクリエーションにて楽しみのある活動的な生活を過ごして頂きます。

どのようなことを行うの?

利用者さまやご家族のご希望をもとにした施設サービス計画(ケアプラン)にそって、リハビリや日常生活にて必要な食事、排泄、入浴などの支援を多職種で行っています。

多職種とは?

医師、介護士、看護師、理学療法士、作業療法士、ケアマネジャー、薬剤師、管理栄養士、支援相談員などです。

どんなリハビリがあるの?

病院でのリハビリと大きな違いはありませんが、施設生活を通してのリハビリなので、より日常生活に即した実践的な練習を日々行うことができます。リハビリスタッフとマンツーマンでの個別リハビリだけでなく、介護スタッフとの日常生活で日々繰り返される「生活リハビリ」も特徴的です。



利用するには?

介護保険にて要介護または要支援と認定された方がご利用頂けます。(詳しくは施設までお問い合わせ下さい)

いつまで利用できるの?

介護老人保健施設は、特別養護老人ホーム(特養とよく呼ばれます)とは違い、一生涯に渡って入所する施設ではありません。原則3か月ですが、ご本人の状況等を確認し必要に応じて延長又は在宅復帰に向けてサポートします。

利用料金は?

介護保険が適用される施設の為、介護サービス費の1割をご負担いただけます。

(食費や居住費等は自己負担となります。詳しくは施設までお問い合わせください)

介護老人保健施設ケアセンター回生
TEL(075)934-6888

ぜひ一度見学に



お越し下さい

平成25年下半期研修報告

京都回生病院 院外研修	
25.7.4・7.10	看護リーダーシップ研修(中堅コース)
25.7.16	夜勤・交代勤務に関するガイドライン研修
25.7.24	安全運転管理者研修
25.7.26~27	医療事故分析(ヒューマンエラーとその対策)
25.7.31・8.21	新人看護師職員研修「実地指導者研修」
25.8.8	在宅医療診療報酬説明会
25.8.9	アサーティブコミュニケーション研修
25.8.23	PNSパートナーシップシステム研修
25.8.28	看護研究のプロセス
25.9.1	近畿作業療法学会
25.9.7	在宅医療実施研修「神経・筋難病シリーズ②」
25.9.14	保険医療管理士会研修会
25.9.14~16	基礎教育プログラムII
25.10.3	労災診療費算定実務研修
25.10.9・12.11	病院医療従事者認知症対応向上研修
25.10.15	退院調整看護師養成研修
25.10.17~18	医療事務勉強会
25.10.24	看護部長会マネージメント研修
25.10.26	次期診療報酬改定に向けた検討の方向性について
25.10.26	訪問看護師「皮膚・創傷ケア」研修会
25.11.9	医療安全シンポジウム
25.11.9	京都救急医療研究会
25.11.11・12.2	初心者医療事務講習
25.11.14~16	関西ストーマ研究講習会
25.11.18	認知症サポート養成研修
25.11.21	大阪医科大学連携病院院長総会
25.11.22	看護管理者に求められる意思決定研修会
25.11.28	医療事務担当者向け講習会
25.11.30	感染・医療事故防止セミナー2013

京都回生病院 院内研修	
25.7.16	運動力学について
25.7.22	透析療法の理とケア 腎機能の病態生理の理解と患者ケア
25.7.23	介護保険・医療保険について
25.8.20	認知症について
25.8.26	周術期、ICUでの鎮痛・鎮静・安静と運動の考え方
25.9.17	栄養or体幹トレーニングについて
25.9.30	家族を支援する看護急性期における家族ケアのポイント
25.10.15	筋力増強訓練について
25.10.28	人工呼吸器換気モードの理解と呼吸モニタ波形
25.11.19	呼吸について(基礎編)
25.11.25	認知症高齢者 周辺症状への理解と対応
25.12.16	術前・術中・術後などの侵襲の高い状況での栄養管理
25.12.17	摂食・嚥下について

ケアセンター回生 院外研修	
25.7.2	京都府介護支援専門員研修
25.7.10	甲種(新規)防火管理に関する講演会
25.7.11	安全運転管理者講習
25.7.17	労働災害防止研修
25.8.1	平成25年度 介護支援専門員研修 実務経験者更新研修
25.8.8	認知症介護初任者研修
25.8.12	平成25年度 洛和会喀痰吸引等研修機関研修
25.8.22	難病 従事者研修会
25.8.23	平成25年度京都府認知症介護実践者等養成研修
25.9.1	介護プロフェッショナルキャリア段位制度評価者(アセッサ-)講習
25.9.19	記録の意義と方法 ~有効な支援と連携の為に~
25.9.21	平成25年度 向日市防災訓練
25.9.24	第2回 京都府老人保健施設協会 施設長等リハビリテーション部会
25.9.25	平成25年度看護職員研修会
25.9.25	京都府老健協会 看護・介護部会 第3ブロック交流会
25.10.3	平成25年度 介護支援専門員研修 実務経験者更新研修 基礎研修
25.10.23	職場の難問解決セミナー
25.11.8	平成25年度 第1回支援相談員部会 全体研修
25.11.13	京都府老健協会 リハ部会主催夜間勉強会
25.11.21	めざせ!!介護職の向上~ 今、求められる介護スタッフとは ~
25.11.21	福祉サービス苦情解決事業セミナー
25.11.22	第20回 京都府老人保健施設大会
25.11.30	第2回 京都府介護支援専門員研究大会 ケアマネジメントがもつチカラ
25.12.12	自衛消防隊員課程(第21期)
25.12.12	第10回京都府リハビリテーション専門職研修会
25.12.18	主任介護支援専門員フォローアップ研修 対人援助のスーパービジョン

ケアセンター回生 院内研修	
5.7.9・7.17	脱水について
25.8.13・8.21	ケアプランの作成と手順・記録について
25.9.10・9.18	急変時の対応の実際
25.9.25	栄養と褥瘡について
25.10.23	成年後見制度と任意後見制度
25.10.31	重心と支持基底面を考慮した介護方法
25.11.12・11.20	医療安全・事故防止と発生時の対応
25.11.27	インフルエンザ対策
25.12.10・12.18	褥瘡リスク判定と予防策

京都回生病院 実習生受け入れ	
栄養科	<p>☆京都女子大学 実習生:管理栄養士 2名 実習期間:平成25年8月26日~平成25年9月6日</p>
	<p>☆藍野大学 実習生:作業療法士 1名 実習期間:平成25年6月10日~平成25年8月2日 実習生:作業療法士 1名 実習期間:平成25年9月2日~平成25年10月26日 実習生:理学療法士 1名 実習期間:平成25年9月24日~平成25年10月18日</p>
リハビリテーション科	<p>☆朝日医療専門学校 福山校 実習生:作業療法士 1名 実習期間:平成25年6月24日~平成25年8月24日 実習生:作業療法士 1名 実習期間:平成25年9月9日~平成25年11月9日</p>
	<p>☆大阪医専 実習生:理学療法士 1名 実習期間:平成25年6月3日~平成25年7月27日</p>
	<p>☆大阪医療福祉専門学校 実習生:作業療法士 1名 実習期間:平成25年12月16日~平成25年12月18日</p>
	<p>☆関西学研医療福祉学院 実習生:作業療法士 1名 実習期間:平成25年7月29日~平成25年8月9日 実習生:理学療法士 2名 実習期間:平成25年9月30日~平成25年10月3日 実習生:理学療法士 2名 実習期間:平成25年10月7日~平成25年10月10日</p>
	<p>☆畿央大学 実習生:理学療法士 1名 実習期間:平成25年6月3日~平成25年7月24日</p>



食事も 治療の一貫

おいしいものを食べて 身体を元気に

☆嗜好調査アンケートの実施

京都回生病院では年に4回程度、入院患者さまを対象とした嗜好調査を行っております。今回はその紹介をさせていただきます。全体的に高齢の入院患者さまが多いため、硬いものは食べにくいとの回答をいただきました。約半数の患者さまが完食され、約9割の患者さまから味付けも良いと評価して頂いています。



2014年4月お花見弁当

☆だから美味しい!!

塩分制限のある食事には圧力鍋を使います。少ない塩分量でも中心までしっかり味を染み込ませ、柔らかくそして美味しく感じる事ができる食事を提供しています。

☆アレンジレシピ

万能調味料…ニンニク醤油
材料…ニンニクひとかけら・醤油適量
すりおろしたニンニクに醤油を加えるだけで、いろいろな食材の漬けダレになります。酒を加えれば、からあげ等の漬ダレにお使い頂けます。また、オリブオイルを加えてドレッシングやマヨネーズと合わせてオリジナルのディップソースもオススメです。みじん切りの炒め玉ねぎを加えてステーキソースと自分だけのオリジナル調味料をお試ください。

☆最後に

栄養士はほぼ毎日、病棟を訪問しています。質問・ご意見などがありましたら、遠慮なくお尋ねください。これからも全ての患者さまから満足と答えていただけるよう、栄養科一丸となり、取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願ひします。

京都回生病院

京都市下京区松原通七本松西入ル 〒600-8814
TEL(075)311-5121(代) FAX(075)314-1843

- 訪問看護ステーションかいせい
TEL(075)323-2585 FAX(075)323-2586
- 京都回生病院 デイケアセンター
TEL(075)314-2021 FAX(075)314-2133
- 京都回生病院居宅介護支援事業所
TEL(075)321-6365 FAX(075)323-2586
- 訪問リハビリテーションかいせい
TEL(075)323-0533 FAX(075)323-2586

在宅介護支援センター 京都回生病院

京都市下京区松原通七本松西入ル 〒600-8814
TEL(075)321-6365 FAX(075)323-2586

介護老人保健施設

ケアセンター回生

京都府向日市物集女町中海道19-5 〒617-0001
TEL(075)934-6888(代) FAX(075)934-7513

- ケアセンター回生 デイケア
TEL(075)934-6888 FAX(075)934-7513
- 訪問看護ステーション 第二かいせい
TEL・FAX(075)934-6886
- ケアセンター回生居宅介護支援事業所
TEL(075)935-2018 FAX(075)934-7050
- グッドエイジングリハビリテーションかいせい
京都府向日市寺戸町殿長17K&Cコート1階 〒617-0002
TEL(075)934-3319 FAX(075)934-3318

向日市北地域包括支援センター

京都府向日市物集女町中海道19-5 〒617-0001
TEL(075)934-6887 FAX(075)934-6910

クリニック回生

京都市中京区御幸町通錦小路上ル 〒604-8051
TEL(075)255-0253 FAX(075)255-0254

- クリニック回生 メディカルエステ
TEL(075)255-0350 FAX(075)255-0301
- 訪問リハビリテーション クリニック回生
TEL(075)255-0273 FAX(075)255-0291
- アンチエイジングリハビリテーション回生
(通所リハビリテーション)
TEL(075)255-0275 FAX(075)255-0292

**看護師
理学療法士
作業療法士
の皆さん**



募集中!!

楽しい職場で多くの仲間たちと一緒に働いてみませんか？
ドシドシご応募下さい。
お待ちしております。日勤常勤・三交替勤務・夜勤のみのパート勤務もあります。

詳しくは回生会本部
庶務課まで
TEL 075-315-3477

薬の豆知識

薬は何で飲むのがいいの？

やっぱり水かぬるま湯が一番いいでしょう！



ジュースやアルコールなどで飲むと、効果に影響が出たり、副作用が多くなったりすることがあります。

牛乳



牛乳や乳製品は、胃のpHを上げる(アルカリ性にする)働きが強い食品です。薬によっては効き目が低下し、効果の発現に時間がかかることがあります。

ジュース



薬によっては吸収が低下することがあります。病院で処方されるコレステロールや血圧の薬は、グレープフルーツジュースと一緒に飲むと、効果が強く出たり、副作用が多くなったりすることがあります。

コーヒー・お茶



薬の中にカフェインが含まれているものがあり、一緒に飲むと、カフェインのとりすぎで興奮して眠れなくなることがあります。

アルコール



薬の効き目が強く出すぎたり、副作用が現れやすくなります。とくに、かぜ薬などに使用される解熱鎮痛薬のアセトアミノフェンは、アルコールと反応して肝臓に負担をかけやすくなるので、注意が必要です。

患者様への基本姿勢

医療法人 回生会は、患者様が公平な医療を受けられることなどを尊重し、患者様と医療提供者がお互いの信頼関係に基づき協働して、良質な医療の提供に努めます。

1. 良質な医療を公平に受けることができます
患者様は、個人として常にその人格を尊重され、病院がなし得る最善・適切である良質な医療を公平に受けることができます。
2. 説明や情報を得ることができます(インフォームド・コンセント)
患者様は、病気、治療、検査、見直しなどについて、十分な説明と情報提供を受けることができます。
3. 選択の自由と自己決定を尊重します
患者様は、十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意志で選択し、決定することを尊重されます。又、他の医師の意見を参考にすることもできます。
4. 個人情報及びプライバシーを保護いたします
患者様の個人情報やプライバシー等については、保護いたします。
5. 診療情報の開示を求められます
患者様は、申請によりご自身の診療記録等の開示を求めることができます。
6. 研究途上にある治療方法や薬剤の投与(治験)を行うことは、いたしません



京都回生病院、介護老人保健施設ケアセンター回生各施設では、各階フロアーに「ふれあい箱」を設置しております。皆様のご意見、ご要望等の声を少しでも反映させたく思いますので、お気付きのことがあれば投書ください。